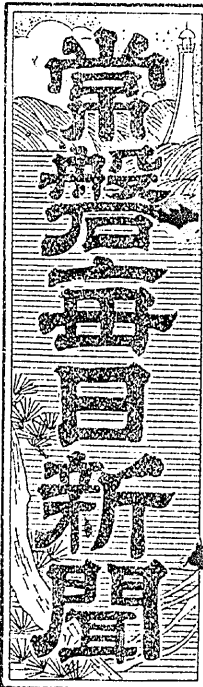


刊夕 日四月八



定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 廣告料 五十字一円 一行五元 五行十元  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

日本精神と神道

石

文 博 省 三

第二の特色は何であるか六ヶしい言葉であるが、日本精神は固有の本質の力を何處までも／＼と活かして行く力即ち永遠の発展性である、固有の力を何處までも伸ばして行く分り易く申すならば、我々の祖先が斯う云ふ國体を作り斯う云ふ神様を信じかういふ神社を作つて以來何千年と永く續いて居る其の間に或は佛教が這入り或は儒教が這入り色々なものが這入つて來ましても、或る時には衰へたこともはあるけれども、絶えず其の生命が働いて居る常に新しい生命として夫れが伸びて行く、さうして日本の儒教として日本の佛教として有らぬ外來思想を日本の物として本來の固有の力の中に包容して了つて、さうして絶えず之を伸ばして行く、然う云ふ精神が明かに存在して居る、之を私は日本精神の永遠の發展性と申すのであります。

今から千五六百年前に支那の思想が盛んに這入つて來た、逆も今日想像する位のことではない、然るにそ

れに吞込まれず感化されてしまはなかつた、皆さん歴史を調べればそれは驚くばかりの事實がある、なぞ斯う云ふ違つた國体や違つた文化にも壓倒されないうで却つて之を日本固有の精神の中に包容して了つたか、之は正に驚くべき世界の奇蹟であります。其へ以て行つて佛教と云ふ大きな宗教が來た、日本人の目まぐるしい位立派な宗教が這入つて來たが、それも何時の間にか皆んな日本精神の中に入れて了つた、明治の初めあれ程盛んに西洋の文物が流込んで何んでも舶來、彼んでも舶來と云つて甚だしいのは舶來品製造所と云ふ看板を掲げた程であつた。板垣さんが「板垣死すとも自由は死せず」と云つたが何時の間にかやらの觀念も日本精神の中に這入つて了つた。續いて日清戦争が起り日露戦争が起つて益々西洋文明を盛んに取入れた。

慶應義塾を創めた福澤諭吉先生が明治十五年に「帝室論」を書いた。之は今日我が國粹に目覺めなければならぬ、我が日本人は皆んな西洋文明に酔うて居ると其の戒めを書いたものであります、其の年に又「兵論」と云ふのを公けにされました。之は一種の軍備擴張論であります、其の中に斯う云ふこと言つて居る、凡て國の強いと云ふのは何う云ふ條件が必要かと云ふと、一國の強さと云ふものは兵隊の澤山居る事、第二には軍器の精巧と隊伍編成の巧妙な事、第三には經濟的勢力の豊かなる事、この三つが揃はなければならぬ兵員の多數と武器の精銳隊征の整頓せると經濟力の豊かなること、この三つが強國の要素である今日西洋の強國は皆それが揃つて居ると福澤さんは斯う云ふことを述べて居る。自分の信ずる所に依れが遠い將來でなく、近くうちに亞細亞にも驚くべき一大強國が現はれるに違ひない、此の三つの要素を持つた一大強國が現れると思はれる、それは何處かといへば支那であるとする書いてある。

耳鼻咽喉科専門  
**大和田醫院**  
 平町南町  
 電一七〇

旭硝子株式会社  
 赤菱印  
**板ガラス**  
 菓子食器  
 硝子壺  
 其他各種  
**松崎硝子製作所**  
 平町新川町(電話一四二番)  
 仙臺市榮町(電話五九七番)

花柳科専門  
**木村外科醫院**  
 入院自炊の便あり  
 平町五丁目橋際  
 電話三〇九番

産名城磐  
**魚問屋**  
 配達敏速  
 最優最良 大日 本生 命平 代理店 榮盛 番三一電目丁四平

御料鹽  
 コーリン  
 ポーク  
**豚**  
 田町 三二三屋  
 電話三二三番

玉屋洋品店  
 平町田町通電話六五六番

貸切は...  
 セダン揃ひで  
 貸切専門の  
**昭和タクシー**  
 電話三四三

中村齒科醫院  
 平町鍛冶町七

川本 本場新茶入荷  
 一斤に付、四〇より 一、〇〇まで  
 新家庭用ほうじ茶  
 斤 六〇 四半斤 一五錢  
 斤 四〇 斤 一〇錢

御家庭用  
 京清水焼  
 御前茶器  
 番茶器  
 組三〇錢  
 在荷豊富

香味本位の本場銘茶  
 召上りませ

電話三九六番  
**大勝園**

# 早植が優良

## 郡下の稲作巡視

石城郡地方の稲作は既記の如く伸長も分蘖も申分なく著しい増収を豫想されてゐるがこれは天候に恵れて居る事勿論なるも第一早植勵行の外ならずと見て郡農會技術員は先般各區内を巡廻し挿秧期の迅速によつて生育に如何なる影響を及ぼしてゐるかにつき視察を行つた結果に依ると断然早植が優秀なる成績を擧げてゐる事を發見し一般農家も早植の効果を認めたので明年度よりはきせせずして早植が實行されるものと期待されてゐる

### 小作人は競つて

#### 麥畑開拓に努む

地主への負擔がない  
二毛作の爲めに

旨報石城郡農會及び各町村農會では政府の小麥増殖案に就いては夫々準備を進めて居るが郡下各農村の慣例として小作人の裏作物は全部小作人の所得とされて居るので今回の増殖案はいづれも水田、畑地等の二毛作として増殖を計る事となつて居る爲め小作人は麥の栽培による地主への負擔を必要とせず非常な利益を見る事として郡下各村の小作人は競つて麥畑の開拓に餘念がない

### 小麥増殖

#### 指導員指定

石城郡大浦村農會では今回全縣下は配置される小麥増殖案の實地指導員指定を爲

### 磐女對法曹

#### 明日庭球戦

磐城高等女學校職員對平法曹團の庭球試合は明五日後三時より磐女コートに於て舉行されるがメンバーは

左の如くである

磐女 法曹  
(大) 木内 (小) 山田  
(正) 木内 (山) 田野

### 發送は減じて

#### 着荷が増加す

#### 石城各驛の現況

常磐線石城郡各驛の貨物集散状態を平稅務署で調査したところによると七年度上半期の郡下主要驛(平、四倉、綴、湯本、泉、植田、勿來)における發着は發送九十一萬七千四百二十六ト(前年同期九七九、〇七

### 菜種取引好成绩

#### 農會の努力酬えらる

石城郡農會では郡下農村の菜種二毛作栽培奨励の爲め毎年種子の無料配給をなして努めた効あり本年の栽培反別は昨年五十町歩の倍百町歩に達し殊に氣候順調に恵れ五十六噸の收穫を得たので同會では過般是れが販賣を斡旋せる結果去る三日

### 平海臨

四倉の第一夜は皆い、夢をみたやうです、何ぜかと言へば皆餘り早く目を覺ましたからです、短夜のやつと東の空が白んだ頃もう「や天氣だ、みんなおさろ」と

どなつてゐる、ほんとうにうれしそうです、先生がいから「休みなさい、まだ早いからもう少しねなさい」と云つてもそんな事は少しも耳に入らない様子です皆上手にふんどしを掛けて早や海岸行の支度です、五時半校長先生の「起床」と言ふ聲に床をけつて表に出て見るともう皆整列して居るのです、怒濤押よせる海岸で連續二回のラヂオ体操、水竹先生の元氣のよい聲で關節が伸びる、体がおどる七時から九時まで自習皆一生懸命です、九時半から水泳の練習、泳げる方の方が上川先生、少しも泳げない人々が水竹先生のお教へを受けてどうやら水にだけはうかぶ様になりました。

**CAFE SEKAI**

紅、そして青の灯の下に  
美女のくむ緑酒を知る御身よ  
さらば来り召せ  
吾が世界のハレムへ。

カエリ 世界

美しいオアシス世界の麗女は  
いと久しく御身の來るを  
心して待てり……。

▲ 堂々 ……

斯界の群を抜く

最高級車プソモス號  
今般増車致しました  
何卒御用命は

電話三九五番へ  
セリザワタクシ

亡父勝二儀本年新益に相  
當仕候も故人の遺志に依  
り提灯の御贈與辭退仕度  
此段御諒承願上候

内郷村新町(公園下)  
鹽坂 幸子  
電話一九二番

**吉田眼科病院**

平野屋町、電話六八番

### 舊盆を控へ

## 低利資金 申込み

### 俄かに殺倒す

#### 平役場の受付額

平町役場で去月二十二日より受付けて居る政府の中商工業者に對する低利資金貸付は舊盆を前に控へ決濟資金の必要に迫られて居る折柄として既に町役場の受付額は十一万圓に達し此の外直接縣に申込んだ額が數万圓に及んで居るので今後の申込殺倒と共に今春に於ける低資申込額五十餘万圓と大差なき額に達するであらうと見られて居ると

## 相變ららず

### チリくの天氣

#### さて何時降るのか

昨日は九十度だ、今日は百度だと土用に入つて以來毎日々々ウダル様な暑さに平市民はすつかりしよげ返つた様なお天氣、こゝしばらくは雨の

アの字も 見出せない有様にあらちちらに雨乞ひがはじまりさうだそれでもさのふけふは珍らしく朝から曇り勝ちでカン／＼と降り付ける太陽も久し振りに雲隠れのさまを見せそれに

南東の風 さへ出たので... 愈よ雨だ... 雨だと大喜びホット一息ついたが、それも束の間、相變らずデリ／＼の天氣だ小名濱測候所においてんとう様の御機嫌は?と尋ねると左の通りで

### 平裁判より

△石城郡植田町字金畑十二番地金成見方自動車運轉助手水野一馬(三)は去月三日無免許にて乗合自動車を運轉し自動車取締令違反として罰金三十圓

△同郡四倉町宇原田吉田エ方自動車運轉手會田又一(三)は乙種自動車運轉手なるが本年三月無免許にて指定外の自動車を運轉し自動車取締令違反として科料十圓

△同郡勿來町大字酒井字出倉十九番地無職小坂己作(三)は本年四月茨城縣那珂郡額田村大字額田宇野孝方に於て外數名と共に花札を使用し金錢賭博をなし罰金三十圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

### 平區裁判所の

## 皮切り事件

### 麻雀賭博で

#### 六名を處分

双葉郡浪江町大字權現堂字下續町十番地雜貨商松本芳春(三)同所宇新町三番地旅人宿業長橋榮造(三)同所二十番地吳商大友彪(三)同所齒科醫石澤清作(三)同所十二番地印刷業細川憲(三)同郡請戸村大字請戸字北之内九十三番地保險外交員小林兵衛(三)の六名は本年六月四日右長橋榮造方に於て麻雀を使用し一回一圓を賭

け其の得点數の多寡に依て勝敗を決して賭博をなし本日平區裁判所に於て各罰金二十圓宛の略式命令發せられたがこれが同裁判所管内に於ける麻雀賭博處分の皮切りである



明日のラジオ  
今映も明日も南よりの晴れたり曇つたり處により驟雨あり

### 今晚の部

後六〇〇 子供の時間  
吹奏樂 豊島園音楽隊  
指揮久松鏡太郎  
後七三〇 講演「農家救濟問題に就て」九州帝大教授農學博士澤村康  
後八〇〇 義大夫「伊賀越道中双六」豊竹駒大夫

### 四倉海岸

#### 美化運動

#### 青年消防出動

石城郡四倉青年團並に消防組では去る一日午前六時より協力して同地海岸及び浴場附近海邊の美化運動をなし汚物其他の取拂を行つた

## 縣道に

### 死體横はる

#### 身元が判明しない

石城郡永戸村字合戸地内縣道に今朝七時頃労働者風三十才前後の男が行倒れとなり絶命して居るのを通行人が發見駐在所に届出たが身元判明せず一先づ村役場に引渡して各地に照會中である

### 平區案件數增加

平區裁判所に於ける去月中の刑事件數は略式命令三十七件公判請求が六件にて前月に比し十六件の増加である

△紺屋町二九玉橋セツ子は七月一日紺屋町地内で一圓九十九錢入財布を△好間村字局前三二西村ハルは同日平驛前で一圓十

大會狀況(米國ロベンゼユース 氣象通報 番組預告)

### 明日の部

前九一〇 料理献立「鮎のゼリー」モ朝倉朝吉  
「七夕に因む自然本位の盛花實習」鈴木光若  
後〇〇〇 オリムピック大會狀況(米國ロサンゼルス放送局より中継)  
後一二〇 運動競技「第六回全日本都市對抗野球

### 平町人事

△女店員 十七才 尋卒  
給料面談(好間村某)  
△裁縫女中 十八才 高卒  
給料面談(好間村某)  
△長橋町三 小野昇氏長女 律子  
△東京府下豊多摩郡落合町 四六麻田重藏氏(二九) 平町二丁目十六鈴木フジ(二四)  
△舊城跡一 弘氏姪八谷 妙子  
△六間門一五 松次氏三男 大江信平(一ツ)

科人婦・科外  
**院醫坂井**  
町田町平  
番九五五話電

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第一百十七席 真庭念流の達人櫻井五助

見覺急の銀平打

林藏はおやまを相手に盃を擧げてゐたが、その内にもうその夜も四ツ半、今で云へば十一時

林「おやま、もう酒にいけねえ大層酔つてしまつた、此處へ床を入れてくれ、一と寝入りしなれば明日身體が使へねえ」

やま「アアい、ぢやアないか、もう一ツお上んなさいよ、わたしが助けるからこの大きなもので」

林「いけねえ、もう飲めねえ、今夜は又酔の廻り方が何時より強いやうだ、恁れ見ろ身體が利かなくなつてしまつた」

やま「本當」

林「何に嘘を云ふものか、恁れ見てくれ、足がフラ／＼して仕様が無え」

やま「成る程大層酔つたねこれなら大丈夫だらう」

林「何に大丈夫なものか身體が利かねえ」

やま「ぢやお前さんお寝なさいよ」

足立屋の女中に吩咐けて座敷を片附けさせ、床を入れた、林藏は寝衣を着替枕に就くと高野で寝てしまつた、枕元に坐つたおやま



羅宇の煙管で煙を飲みながら林藏の顔をデツと見てゐたが

やま「ちよいと親分まだ云ひ残した事があるからね、目を覺しておくんないさいよいと親分……能く寝てゐるね」

と云ひながら床に間にあつた脇差をソツと持つて來て之を次の間に運んで戸棚の中へ入れてしまつた、それから枕元にあつた蓆盆を次ぎの間に持つて行き眞鍮の手あかりも戸棚の中に入れてしまつた、なんにも得

物の無いやうに片付けてしまひ

やま「親分ちよいと起きておくんなさいよ、山城屋に居る伊勢屋のお客様が來たよ、モシ親分、何うすれば斯う寝られるだらう、これなら大丈夫、オヤこの人は何時も七首を持つてゐるが膝差は片附けても懐中に七首がある猪之松さんの身内が怪俄をするだらう、若し親分ちよいと起きておくんなさいよ」

云ひつゝズいと床に入つて

やま「今夜は重いね」

と林藏の身體へその身を摺付け懐中へ手を入れて探つて見たが七首がない、どうしたか背の方まで探りましたかそんなものは手に觸れぬ、其れでは床の下へ入れたものかと是れも探したが目に觸れぬ

やま「どう、ただだらう何時も持つて居る人が今夜に限つて七首を呑んでゐないとは運の盡きだね」

とソツと床より出たおやま障子を開いて廊下傳ひ、表二階へ來て網戸を一枚あけて往來を見ると正月の二十三日もう夜も更けてゐるし春と云ひながらまだ寒い頃、殊に宿場ではあるし道行く者もなく森としてゐるスルト此足立屋の向ふに金物屋があつてその軒下に大きな釜があり、これには水が張つてゐる今はこんな物を見る事もないが昔は天水桶の代用に釜など用ひたもので、その釜の後に手拭で煩冠をして寒さうに躊躇で居る人がある、それは高萩身内の富藏と云ふ者、おやまから今夜林藏が足立屋に呼び出し酒を飲まして寝かしたところへ一同で踏込んで殺してしまへ、と云ふ知らせが今にあるかと待つてゐた。

富「今夜は滅法寒いナ、もう九ツだらう、なんとかおやまさんから沙汰がありさうなものだ、何んにしても相手が林藏で油斷がねえから下手な事をするゝ氣取られるせ、オオ寒い、オヤ、足立屋の二階が開いたウムおやまさんらしい」

見上げる途端、往來でガランと音がした同時にスーッと雨戸が締つた、富藏が軒下から這ひ出してその音のしたところへ來て見ると簷が落ちてゐる、取上げて能く見れば見覺えのある葛の紋の付いた銀平打の簷

富「ウム、これはおやまさんのいつも挿してゐるものだ、林藏を寝かしたらば證物を投げて知らせると云つたが、これを投げるやうでは野郎をうまく騙したナ、しめた」

とこれを持つて引返した我家この富藏の住居は上尾の宿の豆腐屋の裏手、茲に高萩身内が十七八人揃つてゐて、今に沙汰があるかと待つてゐた。

富「ウム、これはおやまさんのいつも挿してゐるものだ、林藏を寝かしたらば證物を投げて知らせると云つたが、これを投げるやうでは野郎をうまく騙したナ、しめた」

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

平町南町 看護婦急派の求めに應じます

平町南町 看護婦急派の求めに應じます

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器 關内藥局 電話四〇番

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥 靈効散(無効返) 松前家傳

耳鼻咽喉科専門 増田醫院 平南町(電話四八二番)

初夏サロンの新装 アイスクリーム 十五錢 タンク入りソーダ水 十五錢 ドーゾ御用命を…… 田町サロンの電話……三五二番

阿康藥舖 電話四四番

阿康藥舖 電話四四番